

設 立 趣 旨 書

人と人との関わり合いが希薄となりつつある現代において、地域住民の絆は次第に失われ、地域に様々な問題が生じています。

野良猫問題はまさにその一つであると言えます。人々の生活が豊かになり、空前のペットブームが起こり、今や軍需産業と並ぶ一大産業となりました。犬や猫のペットに癒やしを求め、かけがえのない家族とする一方で、動物をまるでおもちゃのように扱い、飽きたら捨てる、その命を軽視するという悲しい現実も生まれています。

人間の都合によって繁殖され、挙げ句の果てに無残に捨てられる猫たち。公園や空き地には、捨てられた不妊手術をしていない飼猫が野良猫となって繁殖し、ゴミをあさりながら命をつなぎ、民家の庭先や畑で糞をするなど、地域住民にとっては迷惑な存在となっています。

そもそも猫は野生動物ではなく、ネズミ退治や愛玩動物としてヤマネコを改良し人間が作ったものと言われてます。野良猫が引き起こす諸問題は、突き詰めれば人間の無責任さが引き起こした問題とも言えるのでは無いでしょうか。とはいえ、猫好きと猫嫌いのトラブルは地域において深刻化し、住民の大きなストレスとなっているのが昨今の現実なのです。

当会は設立当初は市民からの通報で野良猫を捕獲し不妊手術を施し元の場所に戻す活動を続けていました。しかし一向に野良猫は減らず活動方針の見直しが必要になりました。野良猫対策を行政と一緒に取り組むことで、地域猫の取り組みの仕組みなど平塚独自の方法を確立することが出来ました。

行政・地元自治体・平塚のら猫を減らす会が手を取り合い、地域の合意で野良猫を地域の問題として管理する「地域猫」活動を推進、取り組みをする中で地元自治体との話し合いを通して猫好き・嫌い・無関心同士の人々の絆を深め、住民間の猫問題を住民同士が共有しトラブルゼロを目指すことによって、住みよいまちづくり、地域コミュニティーの再構築を目指しております。

この度、法人として申請するに至ったのは「地域猫」を通して地域コミュニティーの再構築を目指す活動を継続するには社会的に認められた公的な組織にしていくことが必要と考えたからです。それには公益性、公開性が求められるNPO法人が最適であると考えました。ここに一層組織としての基盤強化を図るため又地域社会に広く貢献できる組織としてNPO法人 平塚のら猫を減らす会を設立致します。

2017年 5月14日

法人の名称 NPO法人 平塚のら猫を減らす会

設立代表者 平田 昇